

合同教育研究全道集会2015

戦後70年、子どもたちに平和な未来をひきつぐために

11月7日～8日

会場
札幌学院大学

●テーマ討論 (仮題) 【7日 9:45～12:15】

- ①戦後70年、被爆70年、憲法と平和を考える
- ②18歳選挙権の実現、高校生や若者に身につけて欲しい力とは何か
- ③インクルーシブな教育づくりの方向性
- ④豊かな心を育む道德教育の創造
- ⑤学校、地域で「アイヌ民族」はどう教えられているのか

●分科会 【7日 13:30～16:15/ 8日 9:30～15:00】

●教育の夕べ 【7日 16:30～18:30】

「原発、沖縄基地、憲法、教育…
～日本の将来、北海道の未来～」

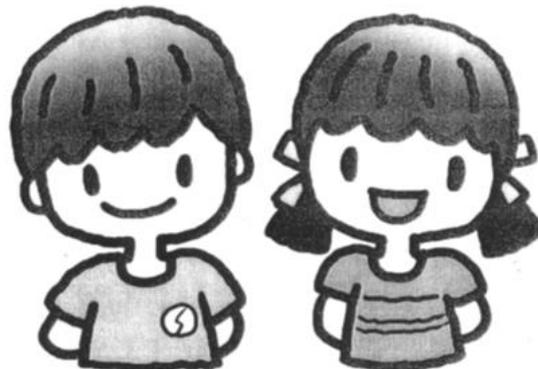
小説家、詩人、北海道文学館館長

池澤夏樹さん



平和を守り真実をいらぬく民主教育の確立をめざして

子育てのこと、
学校のこと、みんなで
話し合いませんか。
「合同教研」は毎年、
全道から子育てや教育に
かかわる人々が集まって
開催されている
誰でも参加できる
教育研究集会です。



●分科会のご案内 【7日 13:30～16:15 / 8日 9:30～15:00】

1 国語教育 (40) 学習指導要領の改訂によって、改憲につながる愛国心・道徳教育が強調されています。平和教材等のあり方と指導法についての研究交流を進め、子どもに真の生きる力を育てる「授業づくり」を明らかにしていきましょう。	7 書教育 (30) 楽しい書写指導のワークショップを実施して、初心者でもできる実践を交流します。小学生の毛筆指導から高校生の作品展示まで、幅広い参加者ニーズに応える分科会を目指しています。ぜひ見に来てください。
2 外国語教育 (40) 生徒の学力の実態、外国語教育の現状、外国語教育の内容・方法などレポートをもとに意見交流を積み重ねてきました。生徒、教員、授業の様子など幅広いレポートを通して幅広く交流し、研究・討議ができればと考えています。	8 音楽教育 (40) 音楽は、人が豊かに生きていくために欠かすことのできない文化です。音楽の授業は、子どもと教師が教材を真ん中にして文化を育む場です。ささやかでも、普段着の実践を持ち寄り、語り、歌い、学び合しましょう。
3 社会科教育 (60) 人格の完成をめざす教育を真に実現するために、歴史をしっかりと踏まえ、民主主義・平和・人権保障の実現を志向する未来の社会の担い手としての主権者を育てる内容・方法について考える場にしましょう。	9 技術・職業教育 (20) 企業モラルの低下による様々な不祥事、労働問題など、技術職業教育の必要性は強く求められています。中学校技術では、「ものづくり」の重要性が社会問題化されています。本当のキャリア教育について学びましょう。
4 数学教育 (70) 「わかる・できる・楽しい」数学の授業づくりを願う方、授業に関心を持たれる方に心地よい素敵な刺激に満ちた集いです。自由な雰囲気です話し合い、見晴らしの良い数学と数学教育の世界を味わいませんか。	10 家庭科教育 (30) 生命と生活の再生産にかかわる学習を担う家庭科は、子どもが直面する生活の困難にどのように迫り、何を提起していくべきなのでしょう。現在と将来にわたる生活の主人公を育てるため、大いに意見交換しましょう。
5 理科教育 (40) 北海道の子どもが自然科学を豊かに学ぶことができるよう、授業づくり、実験教材やものづくり教材の開発、地域の自然の教材化について語り合しましょう。子どもがいきいきと活動して学ぶことができる授業をつくりましょう。	11 保健・体育教育 (50) 教育が「学力」に偏重する中、子どもの現状を語り合い、いかに子どもの命や体を守り育てていくのか交流しましょう。また、食・健康・運動文化の主人公に相応しい力をすべての子どもに保障する教育を考えましょう。
6 美術教育 (30) 作品制作や鑑賞を通じ人間形成を行う美術教育の教科性は、確かな学力、生きる力を獲得するために必要不可欠なものです。分科会では児童生徒の作品を囲み、より良い実践をめざし、子どもたちに還元できることをめざします。	12 総合学習・生活科 (40) 地域とともに学ぶこと、地域と関わる活動の有用性を確かめ合う教育実践が各地で実践されています。つながりをもとに学びを紡ぐ、総合的な学習・生活科の本質を語り考え合しましょう。

分科会名 横の()内の数字は、各自で印刷・持参いただくレポート部数です。

子ども・青年の未来に希望をはぐくむために 憲法・子どもの権利条約の息づく学校と社会を

13 教育課程と子どもの学力評価 (40)

安倍「教育再生」の押し付けに抗し、子どもたちの「学びたい」という願いに応える教育課程を、教職員・子ども・保護者・地域が力を合わせてつくっていくために、お互いの実践や思いを交流しましょう。

19 国民のための大学づくり (40)

政府は大学入試制度改革を突破口に、高校教育と大学教育を一挙に変えようとしています。「文系学部は不要」「職業教育に特化した大学の創出」などの政策が学問や青年期の教育に何をもたらすのか考えていきます。

14 学校と家庭の生活指導 (40)

学校現場を席卷するゼロトレランス・道徳の教科化、そして、貧困・格差が広がる社会の中で子どもたちの声を聞きとり、どのような「遊び」「学び」や生活指導実践が必要なのか探ります。

20 障害児・障害者の教育と福祉 (100)

1日目に子ども理解をテーマにシンポジウム形式で2本の指定レポートから学びあいます。2日目は特別支援教育の広がり、障害者の権利条約批准といった背景の中、各現場でどのような課題があるか学びあいます。

15 教育条件確立の運動 (30)

ゆきとどいた教育の実現には、「人・物・予算」の裏付け、すなわち教育条件整備が不可欠です。教育予算や教育費負担、学校統廃合、教職員定数増と労働条件改善など、切実な課題について学び、語り合しましょう。

21 環境・公害と教育 (30)

公害問題から出発し、自然・環境問題、学校での自然保護教育・環境教育のあるべき姿を探ってきました。東日本大震災、原発事故に関連し、地震や津波、がれき処理、エネルギー政策などについても討論しましょう。

16 子ども、父母参加の学校づくり (40)

様々な課題をかかえる子どもたちの実態や学校現場の実態を語り合しましょう。そして、教職員や保護者、地域の共同、子どもたちの学校づくりへの参加について、大いに交流し、学び合しましょう。

22 平和・憲法、人権・民族と教育 (60)

「安保関連法(案)」により、今日本は大きく舵を切ろうとしています。戦後70年の節目にあわせ、実践と理論を学び合しましょう。また、近・現代のアイヌに関する歴史を見直し、アイヌ民族教育の新しいあり方を考えましょう。

17 地域における子育て・学習運動 (40)

今年度から施行となった「子ども・子育て支援新制度」、現場での様子を子ども、親、保育士等それぞれの視点で交流しましょう。また最近話題のコミュニティスクール、地域づくりと重ねて考えてみませんか。

23 子ども・青年の発達と教育 (100)

子ども・青年期の成長と発達は人間としての基礎形成である。しかし、現状は学力向上ばかりが声高に叫ばれています。子どもの声・日々の実践を持ち寄り、子どもの権利条約・1947年教基法に沿って議論を深めましょう。

18 地域と学校の文化・スポーツ活動 (30)

文化・スポーツ活動を通して、子どもたちに人間性がはぐくまれます。「人間を育てる」豊かな文化・スポーツ活動を地域や学校でどのように展開していくか、みんなで話し合しましょう。

24 不登校・登校拒否・高校中退 (50)

「不登校2年連続増」の見出しで文部科学省の学校基本調査が発表されました。実態は深刻です。解決の方向を学校現場の報告、全道の支援団体の活動、親の会の活動の紹介等で交流しましょう。どなたの参加も歓迎です。

ごあんない

子どもを中心にした 教育・学校を！



●ともに学び・語り合きましょう

合同教育研究全道集会は、「平和を守り真実をつらぬく民主教育の確立をめざして」、1976年の第1回開催以来、道内の教育関係者、父母、道民が集い、今年で40回目の節目を迎えます。合同教研につどい、子どもたちの未来と憲法と子どもの権利条約が息づく学校と社会を築くためにどうしたらよいか、ともに学び、語り合きましょう。

- 「教育の夕べ」は参加費 500 円が必要です
- 会場には保育所を用意しています。申し込み、お問い合わせは事務局へお願いします
- 障害の抱えられている方の参加は、会場準備の関係上あらかじめ事務局へご連絡ください
- 昼食は学食、または学校生協の売店（日曜日は休み）をご利用ください

●会場案内 札幌学院大学（江別市文京台11）



- ◇JR を利用した場合
札幌駅（江別方面行）⇒大麻駅（徒歩10分）
- ◇バスを利用した場合
新札幌バスターミナル発（JRバス・夕鉄バス）
⇒学院大正門前、または北翔大学前・札幌学院大前



●レポート参加される方へ

1. 教職員の日々の実践や子ども、教育の様子など簡単なものでかまいません。
2. レポート参加する場合、各合研加盟団体を通じて合研事務局へ連絡してください。
加盟団体以外のレポート参加は、合研HPに掲載の「エントリーシート」で報告してください。
3. レポートの作成方法・注意事項
 - ・レポートはA4版で表紙には「テーマ」「分科会」「所属・氏名」を明記してください。
 - ・レポートは各自が印刷しご持参ください。（部数は中綴じ分科会名横の「レポート部数」参照）
 - ・プライバシー侵害の恐れがありますので、実名記載は避け個人が特定されないようご配慮ください。
 - ・レポートの「非公開」を希望する場合、表紙に朱書きで「非公開」と明記してください。
 - ・レポート発表に使用する機材は、必要最小限でお願いします（発表時間等を考慮の上、どうしても必要なもの）。必要な場合、あらかじめ事務局へお申し出ください。
4. その他詳細については、合研HP www.goken-hokkaido.jp をご覧ください。